



九州大学

九州大学広報室

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

TEL:092-642-2106 FAX:092-642-2113

MAIL:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL:<http://www.kyushu-u.ac.jp/>

PRESS RELEASE (2010/1/19)

九州大学高等研究院 特別准教授による公開シンポジウムの開催について

概要

九州大学では文部科学省 科学技術振興調整費等により平成 18 年度から「次世代研究スーパー
スター養成プログラム (SSP)」を実施しています。この度、同プログラムで先進的な研究活動
を推進中の若手研究者である高等研究院特別准教授の活動成果を広く社会に発信するため、公開
シンポジウムを次のとおり開催いたします。

日 時：2月17日(水) 10:00～15:15

場 所：九州大学 稲盛財団記念館 (福岡市西区元岡744)

タイトル：新研究領域を開拓する高等研究院特別准教授の研究成果

背景

九州大学では、文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業に
平成18年度に採択され、当該経費及び学内経費(総長裁量経費)により、「次世代研究スーパース
ター養成プログラム(SSP)」の事業を推進しています。(H18～22年度：5年間)

本プログラムの開始に当たり、学内各部署から若手研究者養成・新領域開拓・組織改革を目指す研
究プロジェクトを厳選しました。そして、これらのプロジェクト毎にテニユア・トラック制(※)を
前提として、国際公募により優秀な若手研究者(スーパースタープログラム(SSP)学術研究員)を
採用しました。SSP学術研究員に対しては、プログラム期間中、給与面での厚待遇や研究環境の整
備及び養成期間終了後の准教授ポストの確保等の様々な支援を行い、自立して研究に専念できるよ
うにしています。本プログラム「九大モデル」の取組により、これらの支援策等を通じて、学内各部署
の組織面・意識面の改革を押し進め、教員流動化・新領域開拓を促進し、大学改革の推進や研究全体
の活性化に寄与することを目指します。「九大モデル」の取組は各方面から高い評価を得ており、平
成20年10月に実施されたプログラム中間評価では総合A評価を受けています。

また、本学では、平成21年10月に、ノーベル賞級の極めて高い研究業績を有する研究者や次世
代を担う若手研究者が高度な研究活動とその成果の社会発信を行う場として、**高等研究院を創設**しま
した。これに伴い、SSP学術研究員は、**特別准教授**として同研究院に所属することとなりました。
特別准教授は同研究院において卓越した業績を持つシニア研究者である荣誉教授、特別主幹教授等と
の交流を通じて薫陶を受けるとともに、教育や研究成果発信の経験を積むことで、研究者としてのさ
らなる飛躍を遂げることが期待されます。

この度、採択後4年が経過しようとしている本プログラムによる各プロジェクトの進捗状況と、そ
の研究成果を広く他大学や社会全体に発信する手段として、公開シンポジウムを開催するものです。

(※) テニユア・トラック制：若手研究者が厳正な審査を経て、より安定的な職を得る前に、任期付の
雇用形態で自立した研究者としての経験を積むことができる仕組み

内容

10:00 開会

10:15 ～ 11:50 研究報告(第1部：4プロジェクト)

- ・ 時空間階層生命科学(理学研究院) 4名
- ・ ヒト幹細胞システムの医学的応用への研究拠点の創出(医学研究院) 4名
- ・ 数学・数理科学における未解決問題挑戦プロジェクト(数理学研究院) 2名
- ・ 食シグナルバイオロジーに支援された植物サイエンスの拠点形成(農学研究院) 2名

12:50 ～ 13:15 ポスターセッション

13:30 ～ 15:05 研究報告（第2部：5プロジェクト）

- ・ ヒューマンセンタードロボティクスプロジェクト（工学／システム情報科学研究院） 3名
- ・ 感性を切り口とした「心」の科学拠点の創成（人間環境学研究院） 1名
- ・ 社会情報基盤構築（システム情報科学研究院） 3名
- ・ 超分子ナノデバイスフュージョンプロジェクト（工学研究院） 1名
- ・ 生体防御におけるポストゲノムサイエンス（生体防御医学研究所） 3名

15:10 閉会

■効果

本公開シンポジウムを通じて、学内外から高い評価を得ている高等研究院特別准教授の顕著な研究成果を積極的に社会に向けて発信することにより、当該研究成果が広く認知されるとともに成果の発信が学内外の研究者に刺激を与え、研究のさらなる活性化が期待できます。

また、各方面から高い評価を得ている、「**九大モデル**」による人材養成や新研究分野開拓に向けた組織改革の取組の効果を発信することで、他大学等においても「**九大モデル**」が導入されることにつながります。その効果がより広範に波及していけば、ひいては学界全体の活性化につながると考えられます。

■今後の展開

今後も引き続き、本プログラムによる研究成果等を社会に向けて積極的に情報発信する機会を設けるとともに、取組そのものも総長のリーダーシップの下、より一層発展させながら継続していきます。

科学技術振興調整費による事業終了後は、総長裁量経費・部局長裁量経費等により財政上の学内措置を行い、自然科学系だけでなく、人文社会系も含んだ全学問領域を対象として本プログラムの継続を行い、新規にプログラムへ参画する部局を募り、新たな特別准教授の公募を行って本プログラムの実施規模を拡大し、組織改革と新領域開拓を全学規模でさらに促進することを目指します。

【お問い合わせ】

学術研究推進部学術研究推進課 津田、川上、野田

電話：092-642-4310, 7077

FAX：092-642-4317

Mail：gigwakate@jimu.kyushu-u.ac.jp